

平成28年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年12月10日

上場会社名 株式会社バルニバービ 上場取引所 東
 コード番号 3418 URL http://www.balnibarbi.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 裕久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 辻元 拓士 TEL 06 (4390) 6544
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年7月期第1四半期の連結業績（平成27年8月1日～平成27年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第1四半期	2,017	—	148	—	152	—	98	—
27年7月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年7月期第1四半期 98百万円 (-%) 27年7月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第1四半期	53.60	50.73
27年7月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は第1四半期の業績開示を平成28年7月期から行っているため、平成27年7月期第1四半期の業績及び平成28年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成27年10月28日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成28年7月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から平成28年7月期第1四半期連結会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年7月期第1四半期	4,801	1,623	33.8	782.68
27年7月期	3,933	938	23.9	516.02

(参考) 自己資本 28年7月期第1四半期 1,623百万円 27年7月期 938百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年7月期	—	—	—	—	—
28年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年7月期の連結業績予想（平成27年8月1日～平成28年7月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,009	24.6	230	22.3	232	△3.2	134	△10.1	69.00
通期	8,551	28.7	547	38.3	557	15.9	322	8.9	159.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年7月期1Q	2,074,500株	27年7月期	1,819,500株
② 期末自己株式数	28年7月期1Q	－株	27年7月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年7月期1Q	1,833,359株	27年7月期1Q	1,819,500株

(注) 当社は、平成27年7月3日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行っております。平成27年7月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融政策を背景として、企業収益の改善や訪日客によるインバウンド効果などにより緩やかな回復基調がみられた反面、上海株暴落に端を発する世界同時株安や海外景気の下振れ懸念もあり依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、高付加価値業態を中心に回復傾向が見られてはおりますが、人手不足による人件費上昇、競合企業との競争激化など、引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社グループでは新規出店プロジェクトの企画開発を推進する一方で、店舗数増加に伴い店舗運営体制をより強化するため、新たな店舗運営子会社の経営を行う人材育成に注力いたしました。

当第1四半期連結累計期間における店舗の増減といたしましては、レストラン事業は2店舗を開店、スイーツ事業は2店舗を開店したことにより、当社グループでは計4店舗を開店し、当第1四半期連結会計期間末現在では62店舗を運営しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,017,361千円、営業利益148,012千円、経常利益152,934千円、親会社株主に帰属する四半期純利益98,271千円と順調に推移いたしました。

事業別の業績は以下のとおりであります。

① レストラン事業

レストラン事業におきましては、平成27年9月に東京都新宿区の早稲田大学 大隈スクエアビルに「グッドモーニングカフェ 早稲田」をオープンし、当社グループが運営する大学レストランは4店舗となりました。また、平成27年10月には福岡エリア初出店のレストランとして福岡市中央区大名の人々をほっとさせる街並み(＝バッドロケーション)に海外飲食ブランドである「アンティーカ ピッツェリア ダミケーレ 福岡」をオープンしております。

また、店舗運営に関しましては、店舗運営子会社における各店舗の状況に合わせたきめ細かいレストラン運営に取り組む一方で、新規店舗における顧客満足度を向上させる店舗運営方法の確立や営業企画・イベントの立案、夏季におけるビアガーデンやバーベキューなどの取り組みなどを実施しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、関東地区25店舗、関西地区17店舗、その他地域1店舗の計43店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,762,995千円となりました。

② スイーツ事業

スイーツ事業におきましては、平成27年9月に東京都新宿区で早稲田大学が運営する早稲田小劇場どらま館において「トーキョークレープガール 早稲田どらま館」をオープンし、平成27年10月には川崎市幸区のラゾーナ川崎において「花のババロア ハバロ/パラディ ラゾーナ川崎店」をオープンいたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるスイーツ事業の店舗数は、関東地区10店舗、関西地区3店舗の計13店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は136,326千円となりました。

③ アスリート食堂事業

アスリート食堂事業におきましては、アスリートだけではなく健康志向の顧客へのターゲット層の拡大及びオペレーション効率改善によるコストダウンによる収益性改善を進めております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末におけるアスリート食堂事業の店舗数は、関東地区4店舗、関西地区1店舗、その他地域1店舗の計6店舗となり、当第1四半期連結累計期間における売上高は109,853千円となりました。

④ その他の事業

その他の事業におきましては、企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェ・レストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。当第1四半期連結累計期間における売上高は8,185千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して、868,398千円増加し4,801,511千円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末と比較して、439,656千円増加し1,733,120千円となりました。これは主に東京証券取引所マザーズへの上場時における公募増資に伴う現金及び預金の増加485,352千円によるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して、428,741千円増加し3,068,391千円となりました。これは主に店舗用不動産取得に伴う土地の増加386,362千円、新規出店準備による建設仮勘定の増加70,348千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して、183,626千円増加し3,177,850千円となりました。

流動負債につきましては、前連結会計年度末と比較して、15,434千円増加し1,464,735千円となりました。これは主に未払法人税等の減少97,425千円、未払金の増加30,487千円、1年内返済予定の長期借入金の増加29,687千円によるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末と比較して、168,192千円増加し1,713,115千円となりました。これは主に長期借入金の増加194,759千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して、684,771千円増加し1,623,660千円となりました。これは主に公募増資に伴う資本金の増加293,250千円及び資本剰余金の増加293,250千円、利益剰余金の増加98,271千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間については、売上高、営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する四半期純利益ともに計画どおり推移しており、平成27年10月28日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました平成28年7月期の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前連結会計年度については、連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	829,278	1,314,631
売掛金	202,689	185,377
商品及び製品	59,624	62,200
原材料及び貯蔵品	15,167	16,875
繰延税金資産	35,155	29,661
その他	154,834	124,373
貸倒引当金	△3,287	—
流動資産合計	1,293,463	1,733,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,183,394	1,193,518
機械装置及び運搬具(純額)	19,145	18,636
工具、器具及び備品(純額)	206,262	218,396
土地	379,504	765,867
リース資産(純額)	236,858	244,730
建設仮勘定	16,588	86,936
有形固定資産合計	2,041,752	2,528,086
無形固定資産		
のれん	8,570	7,856
リース資産	651	533
その他	62,686	61,292
無形固定資産合計	71,908	69,683
投資その他の資産		
差入保証金	359,902	330,002
繰延税金資産	73,850	71,921
その他	92,235	68,697
投資その他の資産合計	525,988	470,621
固定資産合計	2,639,649	3,068,391
資産合計	3,933,113	4,801,511

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	211,938	197,934
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	421,776	451,463
リース債務	72,506	76,629
未払金	355,918	386,406
未払法人税等	143,034	45,608
未払消費税等	38,455	58,310
賞与引当金	3,926	15,704
資産除去債務	1,629	1,629
その他	130,116	161,049
流動負債合計	1,449,301	1,464,735
固定負債		
社債	70,000	50,000
長期借入金	1,081,376	1,276,135
リース債務	186,205	190,300
資産除去債務	130,168	133,428
その他	77,173	63,251
固定負債合計	1,544,922	1,713,115
負債合計	2,994,223	3,177,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	99,000	392,250
資本剰余金	150,416	443,666
利益剰余金	689,473	787,744
株主資本合計	938,889	1,623,660
純資産合計	938,889	1,623,660
負債純資産合計	3,933,113	4,801,511

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)
売上高	2,017,361
売上原価	570,836
売上総利益	1,446,525
販売費及び一般管理費	1,298,513
営業利益	148,012
営業外収益	
受取利息	109
受取保険金	17,718
消費税差額	5,025
その他	915
営業外収益合計	23,768
営業外費用	
支払利息	4,646
株式交付費	4,932
株式公開費用	7,213
その他	2,054
営業外費用合計	18,846
経常利益	152,934
税金等調整前四半期純利益	152,934
法人税、住民税及び事業税	47,239
法人税等調整額	7,423
法人税等合計	54,662
四半期純利益	98,271
親会社株主に帰属する四半期純利益	98,271

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成27年10月31日)
四半期純利益	98,271
四半期包括利益	98,271
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	98,271

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年10月28日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。上場にあたり、平成27年10月27日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株発行255,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ293,250千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金は392,250千円、資本剰余金は443,666千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、飲食店運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。